

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物(ごみ)収集運搬・処理事業				開始年度	平成17年度	
基本目標	快適でうるおいのある生活文化環境の整備				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦 敏
20年度決算	292,724	千円	21年度予算	321,004	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	3,234	千円	21年度人件費	3,277	千円	事業従事者数	0.45 人 0.45 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町民生活の環境保全上支障が生じないよう、一般廃棄物(ごみ)の収集運搬、適正処理を実施する。
事業の内容	可燃ごみ・古紙類・不燃ごみ・資源ごみの分別収集・運搬、処理。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 家庭系可燃ごみ量	広報活動等により、家庭系可燃ごみを減らす
	2 事業系可燃ごみ量	事業系ごみの適正処理とごみの減量化を依頼し、集積所の削減とごみ量を減らす
	3 ごみ量割経費(エコ可燃と公債・クリーンセンター清掃と公債)	ごみの減量化を図り、ごみ処理に係る経費を削減する
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動数	環境広報として、年4回の広報を行った。
	2 事業所訪問件数	直接訪問し、事業系廃棄物の適正処理とごみ減量化を依頼を行った。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	家庭系可燃ごみ量	目標値	t	4,149	3,979	3,874
		実績値		4,102	3,953	
		達成率	%	98.9%	99.3%	
	事業系可燃ごみ量	目標値	t	1,617	1,648	1,500
		実績値		1,735	1,508	
		達成率	%	107.3%	91.5%	
	ごみ量割経費(エコ可燃と公債・クリーンセンター清掃と公債)	目標値	千円			257,025
		実績値		146,084	226,993	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	広報活動数	目標値	回	1	4	3
		実績値		1	4	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	事業所訪問件数	目標値	件	0	10	2団体(100)
		実績値		0	40	
		達成率	%	#DIV/0!	400.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2にて、一般廃棄物の収集・運搬・処分については、市町村が行うと規定されている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	平成20年度に関しては、成果があった 現在の活動を継続し、住民への意識づけを行う。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	ゴミの分別・減量化を訴え、家庭系可燃ごみは約4%の減量となった。 事業所訪問により平成21年度からのごみ処理(事業系ごみとしての処理)について依頼し、町の行う収集場所の削減を図った。 経費、時間の削減余地については、継続していくことが必要で現段階での削減の余地はない。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	ゴミの分別徹底・ゴミステーションの環境保全 マイバッグの使用

事務事業名	一般廃棄物(ごみ)収集運搬・処理事業	担当課(局)	町民生活課
-------	--------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	昨年度から、町民の協力により各家庭のゴミの分別の意識が高まりつつあり、可燃ゴミの減少が見られるようになって来た。 これは、町民の協力なくしては考えられないことであり、今後も「出前講座」や広報等により啓発に努めたいと考える。	今後の方向性				
			拡充		○		
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎粗大ごみの有料化、事業系廃棄物処理の適正化を推進することにより、コストの縮小が見込まれるのではないかと。 ◎粗大ごみ個別収集等、新たな事業に対する町民ニーズはあるので、検討を要する。
	コスト	現状維持	